

広報

おおやまざき

太田雄貴選手、凱旋！

北京オリンピックで、フェンシングとしては日本初のメダルとなる銀メダルを獲得した太田雄貴選手が8月31日、大山崎町を表敬訪問。子どもの頃には大山崎町を活動の拠点とする京都フューチャーフェンシングクラブに所属していたこともあり、この町にはゆかりの深い選手です。

役場1階ロビーでの歓迎セレモニーの後、町長室で多くのマスコミがカメラを向ける中、真鍋町長、前川町議会議長、大河内教育長職務代理者などの前で、北京オリンピックでの活躍を報告してくれました。

10

2008(平成20)年

今月の主な内容

- 対談 太田雄貴 真鍋宗平 P2
- 改めて、考える。人権問題について P4
- 里山、天王山を守ろう。 P7
- 恒例！おおやまざき産業まつり P8
- さあ、自主防を設立しよう！ P10

vol.487

<http://www.town.oyamazaki.kyoto.jp>

「努力することが一番大事。結果は後からついてくるもの。」

太田選手、北京オリンピックピック銀メダル獲得記念 緊急企画



北京オリンピックフェンシング
(フルール) 銀メダリスト

対談 太田 雄貴 真鍋 宗平

大山崎町長

3年生からですよ？

太田 フェンシングは、大山崎に通いだす半年前から始めていました。練習量を多くしたかったので、フェューチャーフェンシングクラブに入り、別のクラブと掛け持ちでやっていました。

真鍋 その後も含めて、大山崎はどういう印象の町ですか？

太田 印象ですか、うーん。練習のときに車で来る以外はなかったの……。でも、最近はインターチェンジができてすごく便利になりましたよね。

真鍋 練習に来るのは、いつもお父さんと一緒だったんですか？

太田 そうですね。でも、大学に入ってから自分も車を持っていたので、自分で運転して来ていました。

真鍋 小さい町で一緒にフェンシングに打ち込む間に、クラブの仲間との人間関係も深くなったのではないですか？子どもとときだから、なおさら。

太田 はい。フェューチャーの出身者とは今でも仲が良いですよ。やっぱり小さいときからの付き合いならはだと思いません。

真鍋 フェンシングを始めたきっかけは、お父さん？

太田 はい。最初は、ほぼ強制的にやらされました(笑)。

真鍋 そうすると、面白いと感じるようになるまで、時間がかかったでしょう？

太田 そうですね、半年くらいかかった

と思います。

真鍋 でも、割と早く自分の中で楽しみを見出したんですね。どのあたりを面白く感じたのですか？

太田 競技スポーツなので、勝負に勝つようになる、面白くなってきました。

真鍋 僕は素人だから、詳しくはわからないけど、太田選手は、相手の攻撃を受けて払う。払ってから、体越しに返す。その戦い方は自分で編み出したのですか？

太田 編み出した訳ではなく、相手の間合に入れるように工夫したんです。でも元々あった技で、僕が考え出したなんて恐れ多いことです。「元々あった技を、自分なりに工夫した」というのが正しい表現ですね。

真鍋 そして、「これだけいけそう」と感じたのはいつ頃からですか？

太田 2年前からです。いろいろあって、スランプもありましたが、その中で自分なりに見出すものもあったりして。

真鍋 競技の最中に閃いたりすることもある訳ですか？

太田 はい、あります。

真鍋 お父さんは、太田選手にこのスポーツを勧



左から、太田選手のお父さん、太田選手、真鍋町長。アサヒビール大山崎山荘美術館敷地内の茶室で昼食を共にしながらの和やかな対談



めたのには特別な思いがあったのですか？

太田父 自分自身がずっとやってきたこともあって、フェンシングが好きなんです。その思いが一番ですね。

真鍋 娘や息子に何かをやらそうと思っても、うまくいくケースは割と少ないですよ。親の思い通り、ずっと続けてくれるとは限らない。

太田父 大山崎で開催された大会の小学3〜4年生の部で優勝できたことが大きかったんでしょう。自分が頑張ったこと

に対してメダルがもらえた。これがポイントだったと思います。

真鍋 中国はどうでしたか？

太田 そうですね。特に何の問題もありませんでした。

真鍋 中国の町を楽しむ時間はありましたか？

太田 結構ありましたよ。

真鍋 フェンシングはヨーロッパが本場の競技だから、競技を続けていても、なかなか世間は関心を持ってくれなかったのでは？

太田 はい。でも、オリンピックでこれまで日本にフェンシングでのメダルがなかったのが、当然だと思います。

真鍋 今回のオリンピックでは、大会前から周りの期待も大きくて、太田選手自身からも「今回はいけそう」といった発言もありましたよね。やはり、自分でも手応えのようなものを何か感じていたんですか？

太田 はい。でも、本番では何が起こるか分からないですから、いろんなことが自分にいい風に転んでくれればいいな、と考えていました。そればかりはわかりませんからね。

真鍋 次の世代の人たちに向けて、太田

選手から何かひとこと言うとしたら？

太田 今はつまらなくてもとりあえず続けて、諦めずにやってほしいですね。今の子どもたちは、嫌なことがあったらすぐにやめてしまうことが多いと思います。世の中の大半は嫌なことだと思うので、嫌なことがあっても前向きに努力するというのが、僕は一番大事だと思います。結果は後からついてくるものです。

真鍋 君は今22歳。4年後もまだ26歳。ロンドンオリンピックに向けては、今のところどういう思いですか？

太田 今回、自分の中ではかなりピークが来たと感じていたのですが、ロンドンでさらなるピークが来るかもしれません。逆に、スランプに陥るかもしれません。大きな怪我をするかもしれないし、プレッシャーに潰されるかもしれない。やっぱり、今できる最大限のことをその時々でやっていきたいと思うだけなので、あまり先のことはわかりません。だから、今すぐ4年後に気持ちを向けるという事ではないです。

真鍋 モチベーションをずっと保ったまま4年後というのは、なかなか難しいですよ。

太田 はい、難しいですね。

太田 雄貴 オオタ・ユウキ
滋賀県大津市生まれのフェンシング選手。種目はフルーレ。同志社大学商学部卒、京都クラブ所属。右利きで、キレのあるアタックが特徴。小学校時代は、大山崎町を活動の拠点とする京都フューチャーフェンシングクラブに所属。中学進学後は、全国少年フェンシング大会を連覇。平安高校時代には史上初のインターハイ3連覇を達成し、高校2年時には全日本選手権でも優勝。オリンピックでの成績は、前回アテネが9位、北京が2位。22歳。

北京オリンピックでの戦績
1回戦 対ジャンアントニオ・ソウザ (ブラジル) ○15-4
2回戦 対崔 秉哲 (韓国) ○15-14
準々決勝 対ペーター・ヨピック (ドイツ) ○15-12
準決勝 対サルバトーレ・サンツォ (イタリア) ○15-14
決勝 対ベンヤミン・クライブリンク (ドイツ) ●9-15

真鍋 スポーツだから、もちろん身体が大切なのでしょうが、メンタル面のコントロールというのは、やはり小さいときからの繰り返しの中で培われていったのですか？

太田 もちろんそうですね。それに、今はメンタルトレーニングもしていますしね。

真鍋 お父さんから見て、太田選手はどんなタイプのお子さんでしたか？

太田父 どんなことでも上を目指す子でした。たとえば、僕と相撲をとるときも、大人を相手に負けると分かっているのに必死で勝とうとする。ゲームでも、必ず自分が勝つまでするタイプでしたね。

真鍋 自分でも負けず嫌いな性格だと思いますか？

太田 はい。競技スポーツの世界に、負けず嫌いじゃない人は一人もいないと思います。もしいるのなら、見てみたいです。

真鍋 フェンシングは、試合を見ていても動きが速すぎて我々には一瞬何が起こったのかよくわからない。試合では、相手の動きがはっきりと見えているのですか？

太田 もちろんです。見えていないと、勝負にならないですから。

真鍋 最後に、太田選手からフューチャーフェンシングクラブの子どもたちに向けてお話しします。

太田 努力するしかありません。うまくなるには、練習しかありません。決して、それ以上でも以下でもないと思います。
真鍋 本日はありがとうございました。

改めて、考える。 人権問題について

平成20年度大山崎町人権教育研修会「となりの外国人
―国際理解から差別と共生を考える―」。

8月19日、中央公民館に約100名の聴衆が集まり、
日本生まれの在日韓国人である講師、金泰泳さんのお
話に熱心に耳を傾けました。
講演の内容を要約してお伝えします。

身近なところに現在も残る「差別」

私は、日本生まれの在日韓国人。1
世と2世の子どもです。今は金という
名を使っていますが、大学1年生まで
は日本式の名前を使っていました。と
同時に、周囲には自分が韓国人である
ことを伏せていました。生まれ育った
のは愛知県の田舎、軍事工場の多い町。
その町は同和地区にあり、在日韓国人
が多いという背景がありました。高校
に進学すると、近隣の町からも生徒が

集まってきました。そこで初めて、自分
の町が周囲からどういう目で見られて
いるかを知りました。それは好意的な
ものではなく、偏見を含んだものであ
ることを後になって知りました。こう
いった偏見は実は今も続いています。
私が大学生のとき、中学の教師になり
たくて母校に教育実習に行きました
が、状況はまったく変わっていません
でした。授業の中で「人権」が語られ
ることはなく、職員室では、机の上に
置かれた同和教育研修会のチラシを、
教師たちは見もせずゴミ箱に捨てて

金 泰泳 キム・テヨン

愛知県生まれの在日韓国人。1998年、大阪大学大学院人間科学研究科教育学専攻博士課程を修了し、博士号を取得。その後、大阪大学人間科学部助手、相愛大学人文学部専任講師、福岡教育大学教育学部専任講師、同助教授を経て、現在は東洋大学社会学部の准教授として後進の指導に力を注ぐ。著書に、「新 生涯学習・人権教育基本資料集」「新 国際社会学」などがある。45歳。





「差別」というのは、その人自身にはどうすることもできない事柄をもとに、その人に不利益を与えること。

—— あなたはしていませんか？

しまう。この高校には、姪と甥がつい最近まで通っていました。現在も状況は変わっていないようです。差別意識は、身近なところにもずっと残り続けています。

同和問題、セクシャルハラスメント…黙っていても改善は望めない

今、いろいろな人権問題が出てきています。同和問題だけでなく、セクシャルハラスメントなどの性に関する問題など。これは、多くの場合、男性から女性へのいやがらせです。現代社会では、かつて平然と行われていたことでも、「それはおかしいのではないか。」と、マスコミなどが取り上げられることも多いですね。そういったことから、人々の声が広がり、最近では世間全体に、人権問題が一般的な認識として広がってきたと思います。黙っていて改善されるものはありません。人為的な取り組みが必ず必要なのです。

属性主義、業績主義とは？

先日の秋葉原の通り魔事件以来、多くの人が「外を歩くのが怖い」「電車の中で後ろに人が立つと怖い」「自分も怖いと思われるのではないか。」などと感じ、人間と人間の関係がぎくしゃくしてしまっています。いつ、自分が命や人権を奪われるかわからない。そういった状況が日常茶飯事になっている。しかし、なんとかこの状況を変えていかななくてはいけません。

ん。本日の講演のサブタイトル「国際理解から差別と共生を考える」の中にもある「差別」はよく使われる言葉です。差別というのは、その人自身にはどうすることもできない属性をもとに、その人に不利益を受けさせること、と言えます。では、属性とは何かというと、性別、出身地、国籍（今では変えられますが）、民族などのことです。このような、その人自身にはどうすることもできない事柄によって、「こいつは駄目な人間だ。」と評価をして、その人に不利益を与えること、これが差別であり、属性主義です。逆に、生まれ育つ中でその人が努力してきたことに対して評価すること。これが業績主義です。日本でも、江戸時代の法律は属性主義に基づいたものでしたが、明治以降は、本人の努力が評価される業績主義の社会になりました。それにも関わらず現代になっても、自分ではどうしようもない事柄を理由に「お前は駄目だ。」ということが、実際に起こっているのです。

進む多国籍化、 増える異民族の日本人

近年、いろんな国籍の人が日本社会に住むようになってきています。多国籍化がどんどん進んできています。帰化とは外国人が法律上の日本人になるということ。2007年には、韓国、朝鮮から8,546人、中国から4,740人、その他から1,394人が帰化して日本国籍を取得し

ました。ここ10年で最も多い年には、17,000人以上の人が日本国籍を取得しています。以前は、「日本の国籍を持っていること＝日本民族である」ということが成り立っていました。が、今では、「日本国籍＝民族」とは言い切れないという状況になりつつあります。つまり、異民族の日本人が増えてきているのです。

若い世代にも：欧米よりアジアの国に対して根強く残る偏見

日本の中学3年生529人に対して行った意識調査の結果を紹介します。内容は、イギリス、フランス、インド、中国、韓国・朝鮮、フィリピン、インドネシア、アメリカ、アフリカ系、イタリア、タイ、ロシア、ドイツの国の人について、「日本と一緒に住むこと」、「親友になること」、「隣の家に住むこと」、「一緒に旅行すること」、「親族、兄弟が結婚すること」の項目別に、「賛成」か「反対」かを尋ねたものです。これは、社会的距離が自分にだんだん近づいてくるにつれて、その国の人に対してどういう反応を示すか、という心理を調べたものです。「賛成」は、その国の人たちを受け入れてあげてもいいという受容の気持ち、逆に「反対」は、受け入れたくないという気持ちを表しています。今取り上げた13の国と地域別に見てみますと、2つのグループに分かれています。社会的距離が自分と最も近くなる「親族、兄弟が結婚すること」の項目について、反対が賛

成を上回っているところと、そうでないところ。まず、イギリス、フランス、アメリカ、イタリア、ロシア、ドイツの国の人に対しては賛成が上回っているのに対し、インド、中国、韓国・朝鮮、フィリピン、インドネシア、アフリカ系、タイの国の人に対しては、逆に反対が上回っています。日本社会では、「結婚」とは、異なる文化などを自分たちの身内として受け入れるかどうかということ。また、その人たちが身内になるといことは、その人たちと同じように周囲から見られることがある、ということ。ですから、親もよく「恋愛はいいが、結婚は駄目。」と言います。日本の若い人たちは、欧米の人に対しては許容できよつと抵抗を感じている、ということがわかります。

求められている「ありのままの相手を理解する」という考え方

前述のように、子どもたちは社会の情報に対して固定観念を持っており、これがステレオタイプに繋がっています。ステレオタイプとは、社会の情報によって植え付けられた、ある特定の人たちに対する固定的なイメージ（日本語ではよく偏見、先入観と言われるもの）のことです。例えば、「男というのはこういうものだ。」「女というのはこういうものだ。」「国民というのは

こういうものだ。」といったもので。多くの場合、そこにはマイナスのイメージが含まれています。さて、ちょっと考えてみてください。現在の日本における「国際理解」のイメージとはどのようなものでしょうか？外国の民族衣装を着てみる、外国の民族料理を食べてみる、などなど。外国の伝統文化に触れて、きれいだねえ、いいもんだねえ、おいしいねえ；そういう気持ちで子どもたちに持たせる。そこで終わってしまっている感があります。外国の人たちと手を繋いで、お友達になりましょう、というところまで行っていないのかと言うと、実はそこまでは行っていない。遠くから見ているのは良いけれど、自分が当事者になるのは躊躇する。つまり先述の中学生に対する意識調査の中で、「日本と一緒に住むこと」とは、自分が深く関わらないので良いが、「親族、兄弟が結婚すること」となると、否が応でも深く関わらないといけない。日本での国際理解教育の現状は、「遠くの方から見て、いいね。」で終わってしまっているのです。

「私たちのやり方に合わせるなら、一緒にやってもいいですよ。」「私たちのやり方に合わせるなら、仲間に入れてもいいですよ。」という考え方はなくて、ありのままの相手を理解し合うという考え方に至っていないのです。私たちは、子どもたちに「外国人の文化を理解しよう。」とは伝えてきましたが、「外国人の文化を理解すると

もに、その地域社会で一緒に生活をしよう。」ということは伝えてきませんでした。ありのままの相手を理解するというのは、日本人と外国人の関係だけの問題ではなく、私たち一人ひとり、個人対個人の人間関係を考えることに繋がります。どちらかが中心でどちらかがそれに合わせるという理解ではなく、お互いがお互いを見つめ合いながら、お互いがお互いを理解する。そういう発想が求められているのです。

日本社会が外国人を犯罪に追い込んでいくという現実に向き、どう受け止めるのか

「人権」と「治安」について。何人であれ、どの国の人であれ、犯罪者は生まれたときから犯罪者というイメージを持たれがちですが、日本では、工場などで多くの外国人が働いており、多くの単純労働は彼らに担われています。日本には、安い賃金で外国人を研修生として雇い、日本の企業で技術を覚えてもらう、という制度があります。しかし、最近、この労働条件が実際の条件とあまりに異なるということで、逃げ出す外国人が後を絶たないそうです。研修ということで日本に来ているのに、研修を辞めようと法律違反になってしまう、母国に強制送還されてしまう。また、一度研修から逃げ出してしまった外国人は、さらに低賃金で雇われる。こういった悪循環

環が、結局外国人を法律違反や犯罪へと追い込んでしまっているのです。私たちがなぜ日本社会の法律や規則を守ろうとするのかというと、私たち自身の命や財産を守るためです。でも、私たちと同じように頑張っているのに「お前はどこの人間かわからない。」と言われたら、その人はどう感じるでしょうか？私の両親が国民健康保険に入ってきたのは、80年代になってからのことでした。日本人には当然選んでできる事でも、外国人には選択する余地がない。外国人はコツコツ頑張っても報われない。こういった現実を日本社会がどう受け止めるか。これが、日本社会の治安を安定させるための一つの鍵ではないでしょうか。



森林ボランティア養成講座(初級)

天王山・西山で活動する森林ボランティアを養成します。

とき 10月26日

午前9時30分～午後3時30分

※小雨決行。ただし、森林での作業が困難な場合は講義のみ実施

ところ 二ふるさとセンター、近隣の竹林
集合 二ふるさとセンター 午前9時30分
対象 20歳以上で、今後天王山・西山を中心に森林ボランティア活動をしていただける方

※参加無料(主催者がボランティア保険に加入します)

定員 30名程度

内容 竹林での安全な作業などに関する講義、竹林の整備の実習

持物・服装など 弁当、飲み物、作業できる服装、軍手、雨具、タオル など

※ヘルメット、のこぎりは事務局で用意します

主催 天王山周辺森林整備推進協議会、西山森林整備推進協議会

共催 大山崎町、京都府京都林務事務所、長岡京市、京都・乙訓緑化推進委員会

申込方法 10月17日(金)までに電話またはFAXで、住所、氏名、年齢、電話番号、FAX番号を別記申込先まで。

第6回天王山森の学校

天王山の歴史や身近な自然を学び、里山を守りはぐくむ心を育てていただくた

め、地域の親子の皆さんとともに里山の観察や木の実あそび、竹の工作などを行います。

とき 11月8日

午後1時30分～4時

※小雨決行

ところ 大山崎町字大山崎地内

集合 JR山崎駅前有料駐輪場北側

午後1時30分

※集合場所には駐車場がありませんので、公共交通機関でお越しください

対象 大山崎町および周辺地域に在住または在勤の方とその子ども(小学生以上)

※参加無料(集合場所までの交通費などは各自負担)

定員 親子あわせて30名程度

持物・服装など 飲み物、おやつ、作業できる服装、軍手、雨具、タオル など

主催 天王山周辺森林整備推進協議会

共催 大山崎町、京都府京都林務事務所、京都・乙訓緑化推進委員会

後援 サントリー(株)

申込方法 10月31日(金)までに電話またはFAXで、住所、氏名、年齢、電話番号、FAX番号を別記申込先まで。

天王山清掃ハイキング

天王山をまもる会と町は、「秋の天王山清掃ハイキング」を実施します。会員以外の方も気軽にご参加ください。

※申込不要。当日は飲み物を用意します

とき 11月8日

※雨天中止

集合 山崎聖天桜の広場 午前8時45分

豊かな自然を育み、水源の涵養や災害の防止を担っている天王山。

しかし、近年は放置竹林の拡大などで、その自然が脅かされています。

里山、天王山を守ろう。

問・申込＝経済環境室経済観光グループ

☎956-2101 (内243) FAX 957-1101

京都府京都林務事務所

☎451-5724 FAX 451-5745



おおやまざき産業まつりを
はじめ、楽しい催しが
盛りだくさん。

11月2日(日)は、
役場周辺へ **Let's Go!!**

バザーで掘り出し物を探すもよし、催し物を見学するもよし。お腹が
空いたら、屋台でちよっと腹ごしらえはいかが？

※会場周辺には駐車場がありませんので、車での来場はご遠慮くだ
さい。また、駐輪場のスペースも限られています。できるだけ徒歩
でお越しください

問=役場代表 ☎956-2101

11月2日 日 10:00 ~ 15:00

恒例！ おおやまざき産業まつり

おおやまざき産業まつり

ところ 〓 役場周辺

▼ いきいき農業まつり

町内で生産された農産物の展示・販売

▼ 京都中央農協大山崎支店による展示、販売

▼ 竹林ボランティアコーナー

竹プランターなどの製作

▼ 商工会サックス・フェスタ

天下取りライブ、シヨベルカー

体験&おもいで新聞、一日商店街（模擬店）

▼ 消費生活展（中央公民館本館2階和室）

悪質商法などの展示・啓発

▼ 経済環境室（内243）

問 〓 福祉推進室（内151）

問 〓 健康・児童推進室（内136）

問 〓 福祉推進室（内151）

▼ 小・中学校「児童・生徒作品展示」

▼ 大山崎中学校美術部作品展示

▼ 大山崎中学校吹奏楽部演奏

（午前10時15分～10時45分）

▼ 山崎幼稚園ハンドベルクワイヤー演奏

（午前10時50分～11時30分）

▼ 京都西山高等学校吹奏楽部演奏

（午後1時30分～2時30分）

問 〓 中央公民館

☎ 957・1421

問 〓 中央公民館

▼ 介護情報コーナー

問 〓 社会福祉協議会

☎ 957・4100

▼ 消防コーナー

問 〓 大山崎消防署ガレージ

▼ 消防車両見学

▼ 住宅用火災警報器展示

問 〓 大山崎消防署

☎ 956・0119

問 〓 大山崎消防署

▼ 長寿苑文化祭（2日間開催）

11月1日 日、2日 日

問 〓 長寿苑

長寿苑サークル会員による展示・舞台発表。

問 〓 長寿苑

☎ 957・1860

問 〓 長寿苑

▼ チャリティバザー

ところ 〓 役場周辺

ボランティアサークル「たんぽぽ」による手作り小物品の販売。

問 〓 役場周辺

☎ 953・0204

▼ パザー物品提供のお願い

10月24日 日までに左記まで。

問 〓 大山崎共同作業所

☎ 953・0204

問 〓 大山崎

自主防とは？

皆さん自主防という言葉をご存知でしょうか？自主防とは、「自主防災組織」⇨「災害時に地域で助け合うための組織」のことです。近年、私たちの尊い生命や大切な財産を一瞬のうち奪い去ってしまうような大規模な地震や局地的な集中豪雨が、日本各地で相次いでいます。そして、これらの災害はほとんどの場合、何の前触れもなく突然発生します。いざというときに地域で助け合うことができる

よう自主防を設立し、普段から災害に備えておくことが求められているのです。

行政だけでは不十分

町は、災害が発生した場合、「大山崎町地域防災計画」に基づき、住民の皆さんの生命や財産を守るため、災害応急対策や復旧活動などを行います。

しかし、行政の防災体制が整い、本格的にこれらの活動を行うまでには、過去の例から3日は必要だと言われています。実際に、阪神・淡路大震災で家屋

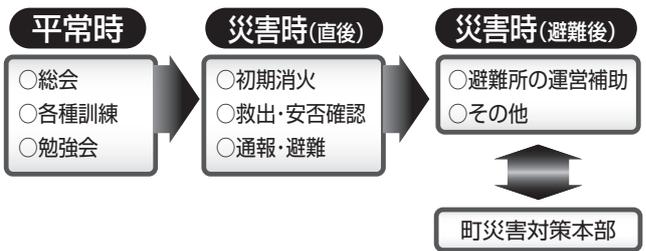
の下敷きになった方の90%以上は、地域住民の皆さんによって助け出されました。

自主防での取り組み

自主防の活動は、平常時と災害時の大きく2パターンに分かれます。

平常時には、災害時にどのような取り組みをするのかを決め、各種訓練や勉強会などを行います。

災害時には、初期消火や被災者の救出、通報、避難のほか、避難所の運営補助など、避難所生活の支援や復興に向けて、地域で取り組める事柄について実際に活動を行います。



自主防の活動の対象となる災害は？

自主防の目的は、「地域の助け合いにより、災害時の被害を軽減する」こと。ですから、基本的にはすべての災害が自主防の活動対象となります。でも現実的には、阪神・淡路大震災のような大規模な地震や、局地的な集中豪雨による水害などが活動の対象になると思われます。

なお、自主防の活動については、平常時・災害時ともに各組織が自主的に行うものですが、活動内容などについて、町では随時相談に応じます。



自主防（円明寺団地15棟）で訓練に取り組む皆さん。日頃の備えが、いざというときに役立ちます

助け合いは、地域から。

じゃあ、自主防を設立しよう！

自分の生命、財産は自分で守る。災害はいつ起こるかわかりません。普段からセルフ・ディフェンスの心構えを持ち、備えを万全にしておく必要があります。でも、一人だけ、家族だけでできる災害対策には限界があることも事実。そして、それを補うのが地域の力です。地域住民が団結し、組織の力で自分たちの町を守ることが、ひいては自分の生命、財産を災害から守ることに繋がるのです。



町が設立を支援

▼防災資機材を自由にご利用いただけます

町では、公共施設（学校・公園など）に、防災資機材を保管した防災倉庫の設置を検討しており、災害時には、これらを活用して、初期消火や救助などにあたる予定です。

この防災倉庫の鍵は、各町内会・自治会長にお渡しする予定です。いざという時は各自主防（町内会・自治会）で防災倉庫を開け、資機材を使用していただくことができます。

▼防災資料を貸し出します

防災に関するビデオやCD、DVDなど、自主防の活動の参考となる防災資料を貸し出しています。地域や家庭で、一度ご覧ください。

また、自主防に関すること以外でも、防災に関すること全般について、総務室総務人事防災グループで随時相談に応じますので、気軽にご連絡ください。

自主防設立のための説明会を開催

現在、大山崎町での自主防の組織率（※）は、全国平均の約60%に対して、わずか4%。そこで、今年度、自主防設立を促進するための説明会を開催します。この説明会は、町内会・自治会長の皆さんには別途ご案内しているものですが、自主防に関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。ぜひお越しください。

とき 10月9日（困）・10日（金）

いずれも午後3時～4時と午後7時30分～8時30分の2回
ところ 役場3階防災会議室

（※）組織率 加入世帯数÷区域の全世帯数

問 総務室総務人事防災グループ
0569-2101（内3236）



いずれも阪神・淡路大震災の被災地のようす
（右）一瞬で跡形もなく崩れ去った街並み。多くの人が崩れた建物の下敷きになって亡くなった
（左上）地震直後に発生した火災で黒焦げになった自動販売機
（左下）大きく傾いたビル
出典：財団法人消防科学総合センター「災害写真データベース」